

＊おいしだ 農業委員会広報



下宿地区 木村玄輝さん(がんばってます)

目次

- ◆会長あいさつ ◆農業委員紹介……………P 2
- ◆がんばってます 青年就農者 木村玄輝さん……………P 3
- ◆米(マイ)ライフ!! 町内小学5年生稲作体験学習…P 4～P 5
- ◆活動報告 ◆農業者年金情報……………P 6～P 7
- ◆農地のお知らせ・編集後記……………P 8

第6号

- ◆発行／平成30年1月
- ◆編集／大石田町農業委員会

農地に関するお知らせ



農地取得・貸借の

町の基準(面積)が変わりました。

※下限面積…農地を取得又は借用する方が必要な農業経営面積

1. 特定の区域に限定した設定

設定地域	設定面積(下限面積)
農業振興地域内の農用地(青地)	50アール
農業振興地域内の農用地以外 農業振興地域外の農地	10アール

※2つの地域の農地を合わせて取得しようとする場合は50アールとする。

2. 宅地と一体として利用すべき農地等に限定した設定

設定地域	設定面積(下限面積)
宅地と一体として利用すべき農地 (農業委員会が別途公示する農地に限る)	10アール未満で 別途公示する面積

※事前に1筆ごとに農業委員会が別途公示するものとする。

★相続登記をお忘れなく!

- 農地所有者が死亡された時は、速やかに相続登記をお願いします。
※相続されない農地は売買や貸借ができません。
※農政関連の助成制度の障害になる場合もあります。
- 相続登記が終わったら必ず農業委員会に届け出ください。



◎農地に関するご相談は地元の農業委員へ

手続き等に関するお問い合わせは農業委員会事務局まで 35-2111(内線151)

広報誌編集委員会

委員長 青木 忠弘
委員 遠藤 史夫
今野 悦子
菅原 直志
飛渡 孝
齊藤 誠
伊藤 芳夫
村岡 藤弥
高橋 敏明
間宮 良一

「減反がなくなり自由に作付出来るのは大歓迎」という声も聞こえますが、需給バランスが崩れれば米価下落は必至です。需給均衡が保たれ、米価がようやく回復基調となる今の傾向を維持することが重要といえます。

生産数量目標が変わる、生産目安を日本全体が守り、米価下落を防ぐ仕組みづくりが急務で、農業委員会としてもそれぞれの場面で働きかけ、「濡れぬ先の傘」とならないと思います。

(記 村岡)

編集後記

30年産米から、約半世紀続いた国主導の減反政策はなくなります。生産数量配分をやめ、農家や農協、再生協の自主的な対応に委ねなければなりません。